



3学年通信

第6号 令和8年10月1日

まじめな努力 = 楽しい時間

担当：丹羽 勲

何かを知ったら、ちょっと調べてほしいな。

あと半年もすれば新たな生活が始まります。新しい進学先や勤務先で何かをプレゼンするときや自己紹介をするときに、「相手に良い印象を持ってもらいたい」というのは誰もが思うことでしょう。では、相手に良い印象を持ってもらうためにはどのような方法があるのでしょうか。その方法として、「初頭効果」と「親近効果」という心理学的な作用を紹介します。

初頭効果（しょとうこうか primacy effect）とは、文字通り、「最初に見たものが、深く印象に残る」という効果のことです。初対面のときの印象が良いと、その後も円滑な関係を築きやすくなるのは、この初頭効果によるものです。これと対をなす概念として、「親近効果（しんきんこうか、recency effect）」があります。これは、「最後に見たものによって、人の印象が左右される」というものです。メリットだけを押し出していると、露骨すぎる印象を持たせてしまうので、あえてデメリットを提示し、終盤に多くのメリットを紹介するという手法がこれにあたります。

他にも初頭効果に似たような働きを持つものとして、「アンカリング効果」があります。これは、最初に提示された情報が基準点（アンカー）となってその後の価値判断を左右するという心理効果をいいます。たとえば、通常ならば10万円する商品が、今回期間限定でなんと5万円！とされた場合、最初の10万円が基準となり、次に出示された5万円を安く感じてしまうという効果です。単純に最初から5万円と提示したときよりも購買に結びつきやすくなります。まさにジャ○ネットがよく見たりしますね。

また、目立たせた部分に、全体の印象が引っ張られる効果として、ハロー効果というものもあります。これは、物・人・場所などの説明をするとき、最も特徴的な部分によって全体の印象が決まることをいいます。例えば、大したものでもなく「ノーベル物理学賞をとった○○教授も認めた●●」と表記があれば、何となくスゲーと思いますよね。

話を元に戻します。初頭効果と親近効果は、情報の提示順序によって人の印象や記憶に与える影響が異なる現象を指します。もしかしたら矛盾しているように思えるかもしれませんが、どちらも人間の心理に作用する正しい効果です。次にそれぞれがより効果的に働く場面を見ていきましょう

例えば、就職試験や入学試験等での面接の場では、入室時の姿勢や第一声の挨拶が面接官に与える第一印象を大きく左右します。部屋に入った瞬間の「失礼します」という大きく明るい声、背筋を伸ばした状態からの礼は、「やる気」や「真面目さ」を面接官に強く印象付けます。また、自己紹介や志望動機で、最も伝えたい熱意や強みを冒頭に持ってくることで、面接官は「この人はどのような人なのだろう」と、その後の話にも耳を傾けてくれるでしょう。

面接の終盤や退室時の言動が、印象を決定づけることがあります。面接の最後に「何か質問はありますか？」と聞かれた際、企業や大学への意欲や関心を示す具体的な逆質問をすることで、強い印象を残せます。また、面接が終わり、退室する際の丁寧なお礼の言葉や、最後まで姿勢を崩さない振る舞いは、礼儀正しいという好印象を与え、面接の締めくくりを良いものにします。これが親近効果ですね。

このように大切なことは初めに言うこと、強調したいことは最後に言うなど、初頭効果と親近効果を意識すれば、より良い印象を残すことができると思います。このような心理学的アプローチをコミュニケーションに活かすことで、相手に好印象やポジティブな影響を与え、望む結果に近づけることができます。心理学を踏まえた「伝える技術」を学ぶことは、今後の君たちにとって非常に重要だと思いませんか。少しでもこの文章を読んで興味を持った人は、行動心理学の「○●効果」とインターネットで検索してみましょう。本当におもしろい、○●効果が見

つかると思います。そしてそういうことかと感じることが見つかると思います。

私もピグマリオン効果を感じて、自分の力を伸ばしたいと思う今日このごろです。誰かいらないかなあ・・・。

☆ 10月（神無月）の行事予定・月訓『積極進取』

1(木)	体育祭予備日①	17(土)	受験対策講座⑩
2(金)		18(日)	
3(土)	受験対策講座⑨	19(月)	電気科生徒薬物防止講話 後期生徒会役員立候補受付開始 全統共通テスト模試（午後）※GAのみ
4(日)	第2回英語検定（一次）・電工一種学科試験	20(火)	執行部合同会 全統共通テスト模試（午後）※GAのみ
5(月)	全校朝礼 月訓：積極進取	21(水)	
6(火)	ベネッセ総合記述模試（午後）	22(木)	常任委員会
7(水)	ベネッセ総合記述模試（終日）	23(金)	
8(木)		24(土)	大学祭
9(金)		25(日)	電工二種学科試験・大学祭
10(土)		26(月)	全校朝礼 月訓：読書
11(日)		27(火)	
12(月)	スポーツの日	28(水)	ベネッセ共通テスト模試（午後）
13(火)	2学期中間試験①	29(木)	ベネッセ共通テスト模試（終日）
14(水)	2学期中間試験②	30(金)	後期生徒会役員立候補締切
15(木)	2学期中間試験③	31(土)	
16(金)	2学期中間試験④		

☆コラム 「人生の分岐点」 ※ 文章をしっかりと読むことができるスキルも大切です。

先月より入社試験が始まった。就職活動における企業選択とは、今後の一生の中で最も多くの時間を費やす居場所を選ぶことになるため、人生の中での最も大きな選択であることは間違いない。就職試験を終え、無事に内定を勝ち取ることができた者は、自分自身が選択した道を責任と覚悟を持って歩いて行って欲しい。当然、自分自身の頑張りによる結果でもあるが、その環境を与えてくれた家族をはじめとした多くの人々からの支えがあったことも忘れてはいけない。また、進学志望者も4年制大学、短大、専門学校、各種学部・学科・コース選択を行うことにより、今後、君たちが進んでいく将来の方向性が絞り込まれていくことになる。高校3年生は、人生の中で、大きな分岐点となる大切な一年であることを今一度再認識したい。進路の方向性が固まった者は、卒業までの残りの期間は、自分の選択を後悔しないために4月からスタートする新たな生活のための準備を進めて行ってほしい。

私にも人生の分岐点はあった。大学卒業後、電気機器メーカーに就職したが、2000年9月11日から12日にかけて起こった東海豪雨で勤務先の工場が水没した。この災害がきっかけとなり、工場の閉鎖が決定し、栃木県の工場への片道切符の転勤を余儀なくされた。今年の夏は、8月の千葉豪雨、9月の東海地方の記録的大雨、台風25号により千葉県を再び襲った関東地方の大規模水害など、人々の生活を一変させてしまう災害が発生した。26年前の東海豪雨の際に、職場から膝まで浸かる水の中を、水田と道との境目がわからず、不安を抱えながら歩いて帰宅し、翌日、職場が1.8mにも及ぶ水位で水没したことを知らされたことを思い出す。栃木県への転勤後、何とか愛知県に戻ることはできないかと考え、大学時代に教職課程を履修していたこと、自己研鑽のために取得した電験3種の資格に助けられ、本校への転職が可能となり、愛知県に戻ることができた。人生の分岐点は、突如現れることもあるが、資格取得など、過去の自分の努力に助けられることもあることを学んだ。日ごろから、何が起こるか想像できない将来に備え、自身のスキルアップなど、準備を怠らない生活をしたい。～3rd Grade Teacher Okubo～